

## お手伝いしてもらいましょう



ちょうど連休にかけて、田植えで忙しい毎日だと思います。きっと、お疲れの毎日でしょう。ご無理をなさいませんよう。といっても昔と違って、ほとんどの仕事を機械がやってくれるようになってしまいました。そのせいか、子供たちがお手伝いをするのが少なくなりましたように思います。

子供たちは、お父さんやお婆さんたちのお仕事に、とっても興味があります。興味がある時に一緒にお手伝いしてもらいましょう。子供たちがいると、機械を使っているのとっても心配です。それでも一緒に仕事をしていると、なにが危ないのか子供たちに教えることもできます。

お仏壇のお荘厳も同じです。子供たちは興味を持って、「火をつけたい」とか「お仏飯をあげたい」というと思います。その時には、ぜひ手伝ってもらいましょう。そして、一緒に手を合わせましょう。一緒にお勤めをすると、文字を覚えるより先にお勤めを覚えてしまいます。

祥月命日やご法事のときも、子供たちは大人の中で遊ぶのが大好きです。そんな時に、子供たちを邪魔にしないで、一緒に遊ばせてください。子供たちは、そんな場所で大人たちとのお付き合いのしかたを覚えていくのです。

その時に、お爺ちゃんのお爺ちゃんが、仏さまになって私たちを見守っていてくれることを、教えてあげてください。きっと子供たちは、大人たちの中にな

に大切なのが、  
なにが見守っていてくれるのかを、  
ちゃんと理解してくれると思います。



宗祖親鸞聖人 ごうたんえ

# 降誕会

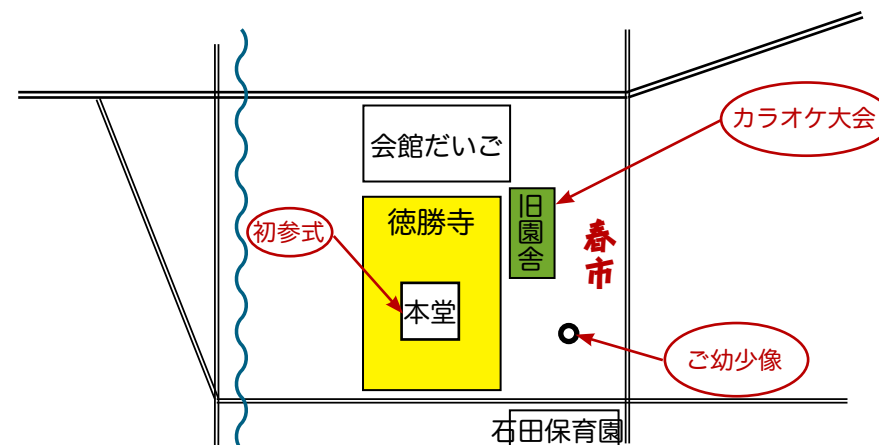
しんらんしょうにん たんじょうかい  
親鸞聖人のお誕生会



## 5月21日(日)

- |       |        |           |
|-------|--------|-----------|
| 午後3時  | 降誕会法要  | 親鸞聖人ご幼少像前 |
| // 4時 | 園児お遊戯  | 保育園運動場    |
| 引き続き  | 餅投げ    | //        |
| // 6時 | カラオケ大会 | 保育園旧園舎    |

落語もあそび  
桂佐ん吉



**初参式のご案内**

恒例の初参式を、餅投げの後、随時行います。初参式とは、新しくお生まれになったお子様が、初めてお寺にお参りになるお式です。記念品もごさいますので、ぜひお参り下さい。

記

1. 場所 徳勝寺本堂  
2. 時間 餅投げの後随時  
3. 参加費 5千円  
以上

(注) お式を受ける方は、事前に徳勝寺にご連絡下さい。

TEL 0879 (43) 2023



# ほとけさまってナァに？



「ほとけさま」とごく普通に使っていますが、「ほとけさま」ってどんな人なんでしょう。何か左の仏像のように、ドッカと座って身じろぎもせず、重々しく静かに難しい話をする人なんでしょうか。

どうも皆さんそういうほとけさま像が刷り込まれているようですが、実際にはちょっと違っているようです。

ほとけさまは、お経の中では、お弟子さんたちに「ブツダ・バガバーン」と呼ばれています。これは「目がさめて幸せな人」という意味です。私たちのように、この世を正しく見られないのではなく、正しくこの世を見ることができたのです。それを「さとり」と言われているのです。

## さとったらどうなるのだろう

さとったほとけさまは、どうなるのでしょうか。おシャカさまは苦がなくなって、本当の幸せになっているとおっしゃいます。だから、「目がさめて幸せな人」なんです。

そのほとけさまは、この世のすべてをご存知ぞんじの、智慧ちえをもっておられます。ご存知といっても、言葉の世界ではなく、感じておられるのです。どのように感じておられるのかというと、この宇宙すべてが互いに関係しあって生きているんだ、と感じておられるのです。決してわたしは一人ではないし、わたしの動きがすべての人たちにも影響しているというのです。

こう説明してしまっただけでは分かりにくいから、これを「空くう」と教えてください。空とは、なんにもないのではなく、どれか一つがなくなるだけで、すべてが崩れてしまう、ということです。だから、わたしはこの世でたった一人ではないし、このわたしの動き一つで、現在のこの世も変わってしまうのです。

こういう世界のすべてを、ほとけさまは修行の上で感じとっておられるのです。そこで初めて、すべての人の悲しみや苦しきまで、共感されているのです。



## 願われているわたし

ほとけさまは、智慧の眼でわたしたちを見ていてくれるのです。だから、ほとけさまにとっては「わたし」と「あなた」の区別がありません。すべてがたすけあって、できあがっている世界ですから、ほとけさまにとって、わたしとほとけさまの区別がないのです。

だから、わたしが悲しいときは、ほとけさまも悲しいんです。わたしが喜んでいるときは、ほとけさまも嬉しいんです。これを慈悲じひと呼んでいます。

この慈悲のお心で、ほとけさまは今この時もわたしたちを包んでいてくださいます。わたしたちはいつでもどこでも、ほとけさまに見まもっていただいています。わたしも、あなたも、ほとけさまに願われているのです。



## ほとけさまの国へ

わたしたちのご先祖せんぞさまたちも、願われてほとけさまの国へ迎えられました。このほとけさまの国を「お浄土じょうど」と呼んでいます。

お浄土に迎えられたご先祖さまたちは、ほとけさまに教えられて、ほとけさまと同じはたらきをするほとけさまになっています。ほとけさまになって、この世にいるわたしたちを見守っておられます。だって、ほとけさまなんですから……

わたしたちは、この阿弥陀如来あみだによらいというほとけさまと、先にお浄土じょうどでほとけさまになったご先祖さまたちに、見守られ願われてこの世を生きています。そのことに気付かせてもらいましょう。わたしたちも気付くはずです。

生きているすべてのもの、それ以外のすべてのものが、わたしたちにはたらいていてくださいます。そのはたらきに「ありがとう」と感謝かんしゃして生きていきましょう。

そして、いつかこの世を離れたら、ほとけさまの国に迎えられて、ほとけさまにさせていただきます。

